

Happy-Hamakan-News (HHN)

浜医看護学 第5巻 第3号

2019年1月号

浜田医療センター附属看護学校

http://www

学校祭・・・1～2P クリスマス会・・・3P 国立病院看護研究学会・・・4P
ナーシングセレモニー、学習発表会・・・5～6P 小児看護学実習Ⅰ・老年看護学実習Ⅰ 実習まとめの会・・・7～8P
第108回看護師国家試験に向けて・・・9P 看護師国家試験激励(お知らせ)・・・10P



学校祭 2018～笑顔満祭、愛と感謝を込めて～

来場者数2900人！！天候にも恵まれ大盛況でした。

独立行政法人国立病院機構
浜田医療センター附属看護学校
〒697-8512 島根県浜田市浅井町 777-12
TEL0855-28-7788
mail : kanri-t@hamakan.nh.jp
http://www.hamakan-nh.jp/

発行責任者 石黒眞吾
編集責任者 高下智香子
編集 田儀千代美、小田川良子、畑中美保、崎本美子、
山岡富美香、福嶋洋子、平田洋子、
三家本八千代、尾川ひとみ、岩成美樹、
松野由香、金山和正



～学校祭 2018～

平成 30 年 10 月 20～21 日に学校祭を催し、2 日目には 2900 人以上の来場者にきていただき、とても盛況でした。私はイベント係を担当しました。イベント係は、今年度の学校祭のテーマ「笑顔満祭～愛と看謝を込めて～」に沿って、来場者の方々が笑顔で安らげる空間を作るために学生が協力して準備を進めてきました。

当日、講堂では本校手話部、真田先生率いる少年少女合唱団の皆様、紫幸会代表の肥塚由美子先生、島根県立大学軽音楽部の皆様、石見神楽熱田保存会の皆様によりステージを大いに盛り上げていただきました。また、講堂の一角に無料カフェスペースを設け、来場者の方々に飲み物を提供し、くつろぎながら催し物を見ていただきました。2 階ではハンドマッサージを実施し、アロマの香りとともに日頃の疲れを癒していただける空間を作り、「気持ちよかった」などの感想をいただきました。1 階ではちびっ子ランドを運営し、来場した子ども達が楽しめる空間となりました。

リーダーの経験を通して、周囲と連絡を取り、進行状況を報告し、何かあれば相談して共有することが学校祭の成功につながると感じました。今後の学校生活や実習でも「ほう・れん・そう」を適切に行い、将来はチーム医療の一員となれるよう行動したいです。学校祭までの約半年間、企画や運営に関して大変な面が多くありましたが、先輩のアドバイスや同級生・下級生のサポートにより無事に学校祭を終えることができたことに感謝しています。ありがとうございました。



2 年生 松村 美月



今年1年生となった私たち66期生にとって、初めての学校祭でした。様々な係がある中で、私は会計係を担当しました。当日、会計係は模擬店の食券販売を行いました。天候に恵まれ、多くのお客様に足を運んでいただきました。慣れない接客でしたが、お客様は温かい笑顔で接してくださいました。実際にお客様を目の前にして「商品やアレルギーの説明をもう少し分かりやすくすべきだった。」など、伝える難しさを知り、反省点も見えてきました。相手を気遣い分かりやすく丁寧に情報を伝えることは私たちが目指す看護師にとって大切なことです。私たちは学校祭のなかで、大切なことを学ぶことができたと思います。

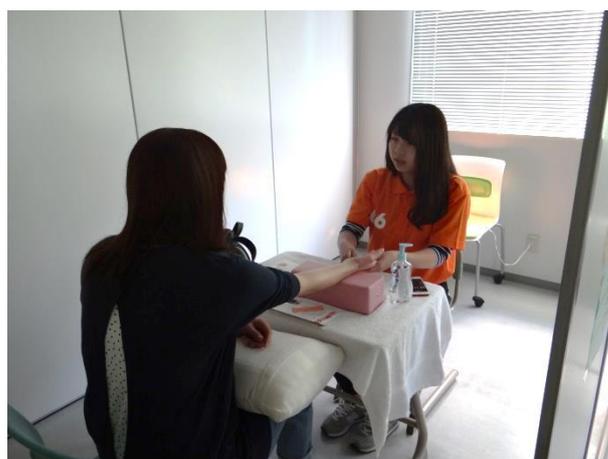


1年生 土居 由佳

また、今回の学校祭では西日本豪雨災害の募金の呼びかけもさせて頂きました。食券を購入すると同時に沢山の募金にもご協力いただきました。本当に有難うございました。来年の学校祭も多くのお客様を迎え、成長した姿を見てもらえるよう、日々の学業に努めていきたいと思います。



模擬店



ハンドマッサージ



フリーマーケット



県立大学バンド演奏



少年少女合唱団



石見神楽

～クリスマス会2018～

私達、看護学生は12月に浜田医療センターでクリスマス会を開催しました。クリスマス会では、病棟の患者さんへクリスマスカードをプレゼントしました。また、病棟の二階では、患者さんご家族に看護学生による歌とハンドベルの演奏を披露しました。

私は行事運営委員会として、クリスマス会の準備を行いました。準備は、ハンドベルの演奏とクリスマスカードの作成です。クリスマスカードは、一年生全員で作成し、患者さんに少しでも身体が良くなっていただけますようにという思いで作りました。クリスマス会はハンドベルの音を響かせ、身に来て下さる方々を笑顔にできるような会になりました。私は、患者さんに直接クリスマスカードを渡すことは出来ませんでしたが、喜んで頂けたら幸いです。来年は、もっと多くの方に見ていただけるような会にしたいです。



1年生 余村 唯



～国立病院看護研究学会 2018～

私は、12月8日に広島国際会議場で開催された国立病院看護研究学会に参加させていただきました。この学会に参加して、看護師は看護技術を教科書にある方法や規則を守って安全に実施するだけではなく、もっと患者さんにとってよい方法はないのか、安全に実施する方法はないのか常に改善方法を考えながら働いておられると感じました。看護研究を発表することで、他の病院でも活用し、看護を改善していくことができると知り、看護研究の発表の場があることの意義を学ぶことができました。また、学会では効率的なプレゼンテーションをするためには話す内容の順番が大切になると改めて学びました。初めになぜその看護研究を実施したのかの背景、次に看護研究の方法、そして結論、スケールやアンケートを用いて評価を行っていて、順序立てての発表は聞いてとても分かりやすかったです。また、研究の対象となる患者に対して倫理的配慮を行うことの重要性も学びました。私は、これからの看護研究の講義や演習でも今回学んだことをいかしていきたいと思います。また、実習では、看護の実際を自分の目で見たりケアを実施したりしていく中で、どうしたら患者さんの精神的・身体的苦痛をより取り除くことができるのかを考えながら関わっていききたいと思います。



2年生 金山 由佳

12月8日に、広島県で行われた国立病院看護研究学会に参加しました。初めての学会参加でしたが、看護師になるために必要な知識や技術はもちろん、現場で働く課題など考えることが沢山あると感じた学会でした。

その中でも特に印象に残っているのは、金沢大学附属病院前病院長の「高度急性期医療の場での抑制しない看護へのチャレンジ」という講演でした。センサーマットゼロをかかげ、患者さんを束縛するのではなく、温かい声かけやタッチングをしながら、「大丈夫ですよ。ここにいますからね。」と話かけ、患者さん一人ひとりに向き合いながら目標を達成することができた事例を話してくれました。目標を達成するためには、必ず仲間との連携が大切で、時にはぶつかることも大切だということが改めてわかりました。そのようなチームの連携によるチャレンジが、より質の高い看護を提供するために大切だと学びました。



1年生 上田 梨乃



～66期生ナーシングセレモニー～

～誓いの言葉～

今日、私たち66期生は新たな決意を胸に1人ひとりが理想とする看護の道を歩み始めます。
看護師を目指す仲間と協力し、切磋琢磨して、豊富な知識と正確な技術を身につけるために、努力を重ねます。
自身の健康を保持し、患者さんの思いを受け止め、尊重し、笑顔で寄り添える看護が行えるよう、向上心を持ち続けます。
いついかなる時も、私たちを支えて下さるすべての方々への感謝の心を忘れず、
すべての患者さんに愛と希望を与えられる看護師を目指します。
以上のことを誓います。

12月5日（水）に66期生のナーシングセレモニーが行われました。リーダーを中心に各係がしっかりと準備してくれて、無事本番を迎えることができました。学習発表会の準備と同時進行でしたが、どちらの準備も怠らず66期生全員で協力して行うことができました。リーダーとして大人数の意見をまとめる大変さ、協力してもらうことの大切さを知り、行事を運営するには助け合いが必要だと改めて考えました。

練習期間では、何を優先して練習すれば良いかわからず、スムーズに皆を引っ張ることができなくて悩みましたが、様々な人からアドバイスをいただき、より良い練習をすることができました。前日のリハーサルでは、当日に本番は大丈夫かなと心配する場面もありましたが、本番では1人1人が自覚を持ち、今までで一番良い誓いの言葉や継火を見てもらうことができました。66期生は本番に強く、やる時にはやれるクラスだと再認識しました。今後もクラスのメンバーと協力することや話し合うことが増えていきます。今回のナーシングセレモニーの様にそれぞれが自覚を持って行動し、どんな壁も乗り越えていきたいです。



1年生 杉本 玲菜



～66期生学習発表会～

12月5日（水）にナーシングセレモニーと学習発表会が行われました。今年から新しく始まった学習発表会では、入学してからこれまでに勉強してきた学習内容とベッドメイキングや寝衣交換などの看護技術を発表しました。ナーシングセレモニーの準備と並行しながら学習発表会の準備をするのは、忙しく大変なこともありますが、仲間と協力してお互いに助け合いながら取り組むことができましたと私は思います。本番では、一人一人が一生懸命になって練習した成果が発揮されていて、温かい雰囲気の中で発表をすることができました。保護者の方々にこれまで私たち66期生が頑張ってきたところを見てもらうことができ、とても充実した学習発表会になりました。

これから少しずつ実習も増え、授業もより専門的なことを学ぶようになり、目の前のことばかりになってしまうと思いますが、そんな時こそ、ナーシングセレモニーでの誓い言葉を思い出して看護師になるために努力していきたいです。今回の学習発表会を通して、助け合うことの大切さを改めて感じることができ、とても良い経験になりました。協力することや意見をお互いに言い合うことで、より一層クラスの団結力が高まったと思います。このことを今後の学校生活にも生かしていきたいです。



1年生 石橋 奈々



ベッドメイキング



寝衣交換



車イス移乗



まとめ発表

～65期生小児看護学実習Ⅰ・老年看護学実習Ⅰまとめの会～

2年生は平成30年9月4日から9月21日の間、小児看護学実習Ⅰで市内4カ所の幼稚園・保育園に分かれて実習を行いました。今回の実習で子どもと関わりながら、子どもの特徴や援助を学ぶことができました。年齢での成長・発達の違いはもちろん、月齢においても違いは大きく一人ひとりに応じた声かけや関わりの重要性を学ぶ機会となりました。

実習の中で成長発達の過程にある子どもに必要な栄養や食材を好き嫌いなく食べてもらうことを目標に健康教育として劇を演じて食育を行いました。その際に子どもが集中できる時間や興味のあるものなど特徴を踏まえ、理解してもらえるよう心掛けたことで園児たちが昼食時に食べものに興味を持ちながら食事をしていたことがとても嬉しかったです。

幼稚園にいる間、さみしくてなかなか離れられない子どももいました。そのような子に対して、どのように関われば不安を軽減することが出来るのか試行錯誤しました。

次回の小児看護学実習では、外来や入院中の子どもたちと関わります。病棟で治療を受けている過程では様々な不安を抱えている親から子どもが多いと思います。子どもたちが少しでも安心して過ごせるような関わり方をしていきたいです。また病気や入院によって食事、遊び方、社会性の発達など、様々な場面での制限がある中でも個性を大切に、一つ一つの子どもの成長発達の機会を逃さないよう関わってしていきたいです。



2年生 曾田 綾美



2年生は、平成30年9月4日から9月12日まで、老年看護学実習Iの為、ケアハウス美川とシルバー人材センターに行き、実習を行いました。私の実習前の老年観は、高齢者は年齢に応じて体に負担がかかり、認知機能の衰えがあると感じていました。しかし2つの施設を訪問させていただき、改めて同じ年齢でも衰えには個人差があるということを感じました。このような学びから私は、今後の老年看護を考え直しました。衰えには個人差があるため自分の価値観でこの世代の人はこのようなことがあるからと決めつけず、その人にしっかり寄り添って観察し、その人にあった看護を考えなければなりません。また、同じ疾患にかかった同じ年齢の方であっても、価値観の違いから生活習慣も違い、合併症や予後なども変化するため、疾患だけを見つめるのではなく一人ひとりの価値観や個人差をしっかりアセスメントして、個別性のある看護を行っていきたくと改めて思いました。今回の学びを今後の実習に役立てたいと思います。



2年生 高橋 深月



～第108回看護師国家試験に向けて～

**64期生（3年生）：国家試験対策学習の特別講義を受けて
東京アカデミー：吉川 久美子 先生、ありがとうございました！！**



**64期生 スローガン
全員合格・健康第一！！**



国家試験対策学習係

(左から) 坂田 雅輝、萬 百香、和久利 夏美

私たちは、クラスの得意分野・苦手分野を把握し、みんなの思いを尊重できるよう対応したいです！！

64期生 萬 百香

7月にも吉川先生の講習を受けましたが、今回は休職中に多くの学生が先生に質問したり、今の自分の状況や勉強方法についてアドバイスをもらっており、64期全体で国試に向けての意識が高まっているように感じました。今回は、前日に行った模試の解説をしてもらい、疾病の発生機序を理解して順序を追って考える事が大切であると改めて感じました。また、解説だけではなく、国試の傾向やどういふところで点を取っていくのか、当日の事などいろいろな話をしてもらい、国試のイメージもできて良かったと感じました。

64期生 坂田 雅輝

東京アカデミーの講習では、模試試験の傾向から苦手分野について要点を絞った講義が行われました。吉川先生は、疾患の発生機序や特徴的な症状、分野別の勉強法など多くの事を分かりやすく説明して下さい、時にユニークな発想で説明が行われ楽しく受講しました。

約2ヶ月後に国家試験を控え、焦燥感がある中、クラスメイトとともに分からないところは互いに教え合い、少しでも知識が身に着くよう勉強を重ねています。国家試験に向けての勉強はどこまでしても「十分」という安心感はなく、不安になることもあります。合格を目標に精一杯努力していきます。



64期生 和久利 夏美

吉川先生の講習を受けて、自分の理解度の浅さや物事を関連付けて考えられていない事に気が付くことができました。模試の結果から勉強方法の助言を頂いたので、学習に対する意欲が湧きました。



～看護師国家試験激励～

1月9日（水）に、JR浜田駅の駅長さんから合格切符をいただきました。また、1月16日（水）には、浜田医療センター看護師長会を代表して坪倉看護部長と前田師長より応援グッズをいただきました。

たくさんの方からの応援に感謝し、当日はしっかりと体調を整えて試験に臨みます！



64期生(3年生)
29名

アクセス

[お問い合わせ先]

独立行政法人国立病院機構
浜田医療センター附属看護学校

〒697-8512 島根県浜田市浅井町777-12 ☎0855-28-7788

— 資料請求は公式ホームページから —

<http://www.hamakan-nh.jp/>

※その他ご不明な点などありましたら、お気軽にお問い合わせください。



スマホを
ご利用の方は
こちらから

今後の予定

2019年

- | | | |
|----|--------|-------------------|
| 2月 | 17日(日) | 第108回看護師国家試験 |
| 3月 | 6日(水) | 卒業式 |
| 3月 | 15日(金) | 終業式 春季休暇 4/4(木)まで |
| 3月 | 22日(金) | 第108回看護師国家試験合格発表 |
| 4月 | 5日(金) | 始業式 |
| 4月 | 6日(土) | オープンスクール |